

チェコ

Czech Republic

	2008年	2009年	2010年
①人口:1,053万人(2010年末,推計)			
②面積:7万8,865k m ²			
③1人当たりGDP:1万8,288米ドル (2010年)			
④実質GDP成長率(%)	2.5	△4.1	2.3
⑤貿易収支(ユーロ)	41億2,650万	30億6,020万	21億120万
⑥経常収支(ユーロ)	△9億6,170万	△43億9,570万	55億6,490万
⑦外貨準備高(米ドル)	366億5,450万	411億5,660万	419億880万
⑧対外債務残高(ユーロ)	596億8,900万	619億4,000万	713億7,930万
⑨為替レート(1米ドルにつき, コルナ,期中平均)	17.0717	19.0630	19.0983

〔注〕⑤⑥:国際収支ベース

〔出所〕①②④:チェコ統計局,③⑦⑨:IMF,⑤⑥⑧:チェコ国立銀行

2010年のチェコ経済は、最大の貿易相手国であるドイツ経済の好調に支えられ、実質GDP成長率は前年のマイナス4.1%から大幅に回復し、2.3%のプラス成長となった。貿易は、大きく落ち込んだ前年に比べ、2010年は輸出入ともに2008年とほぼ水準にまで回復した。しかし、輸出に比べて輸入の伸びが大きく、貿易黒字は過去最高だった2009年より減少(15.2%減)した。対内直接投資は、2009年に引き続き製造分野で引き揚げ超過となった一方で、他の分野では急増した分野もあり、全体では拡大した。対日貿易は輸入が前年と同水準であった一方、輸出が前年比で約3割増となった。

■好調なドイツ経済により景気回復へ

2010年のチェコの実質GDP成長率は、2.3%と、前年のマイナス4.1%から大幅に改善した。ドイツなどの西欧における景気回復をにらみ輸出が前年比17.6%増加し、在庫変動の増加にもつながったことから、成長を牽引した。一方、個人消費(0.5%増)は微増にとどまり、総固定資本形成(4.6%減)は落ち込んだ。

実質GDP成長率を四半期ごとに前年同期比でみると、2010年は第1四半期1.1%、第2四半期2.3%、第3四半期2.7%、第4四半期2.6%と第2四半期以降、安定的に推移してきた。2011年第1四半期も、2011年5月発表の2.5%から、同年6月発表時には0.3ポイント増の2.8%に上方修正するなど、引き続き安定している。チェコ財務省は、2011年の実質GDP成長率は同1.9%(2011年4

月発表時点)で、主に輸出が成長を牽引すると予測している。2010年の失業率は7.3%で、年々(2008年:4.4%、2009年:6.7%)、上昇してきている。消費者物価上昇率は2008年は6.3%だったが、2009年(1.0%)、2010年(1.5%)と安定的に推移している。2011年は多少上昇し2.1%と予測している。

■好調な新興国向け自動車輸出

2010年の貿易は、輸出が前年比23.0%増の996億1,600万ユーロ、輸入が25.9%増の948億900万ユーロと、共に大幅に増加した。輸入の伸びがやや大きかったことから貿易黒字は、48億700万ユーロとなった。

2010年の輸出を品目別にみると、構成比に前年から大きな変化は見られない。構成比で54.2%を占める機械

表1 チェコの主要品目別輸出入

(単位:100万ユーロ,%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009年		2010年			2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	43,382	53,982	54.2	24.4	機械類・輸送用機器	31,113	41,037	43.3	31.9
原料別製品	14,247	17,362	17.4	21.9	原料別製品	13,292	16,972	17.9	27.7
雑製品	9,476	11,037	11.1	16.5	化学製品	8,430	10,069	10.6	19.4
化学製品	5,170	6,471	6.5	25.2	雑製品	8,980	9,768	10.3	8.8
鉱物性燃料	2,937	3,711	3.7	26.4	鉱物性燃料	6,958	9,083	9.6	30.5
食料品・生きた動物	2,795	3,089	3.1	10.5	食料品・生きた動物	4,045	4,478	4.7	10.7
食用に適さない原材料	2,183	3,010	3.0	37.9	食用に適さない原材料	1,699	2,542	2.7	49.6
飲料・たばこ	613	667	0.7	8.8	飲料・たばこ	511	571	0.6	11.7
動植物性油脂	112	168	0.2	50.0	動植物性油脂	208	161	0.2	△ 22.6
特種取扱品	77	118	0.1	53.2	特種取扱品	87	127	0.1	46.0
合計	80,992	99,616	100.0	23.0	合計	75,322	94,809	100.0	25.9

〔注〕表2とも、EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。各項目の合計が「合計」の値と一致しないのは四捨五入処理のため。

〔出所〕表2,7とも、チェコ統計局。

類・輸送用機器が、前年比 24.4%増となった。そのうち最大の輸出品目は自動車(構成比 9.5%)で、24.4%増となった。自動車産業は、チェコ経済を支える主力産業であるが、シュコダオート(フォルクスワーゲン・グループ)を中心に、西欧(EU15:7.0%)向け自動車輸出が 16.5%増と好調だった。他にも自動車部品(6.4%)が 20.5%増、コンピュータ機器(3.4%)が 23.5%増と大きく増加した。自動車部品輸出の 45.6%を占めるドイツ向けは前年比 13.8%増だった。

輸出を国・地域別にみると、EU27 向けが全体の 83.8%を占めるが、前年比 21.7%増と大幅に伸びた。中でも最大の輸出国であるドイツ向け(構成比 31.9%)が 20.9%増と好調だった。EU27 向け以外では、ロシア向け(2.7%)が 42.5%増と大幅に増加した。ロシア向けでは最大品目の自動車部品が 70.9%増、これに続く自動車が前年比 2.5倍と急増した。また、中国およびインド向け輸出もそれぞれ最大品目の自動車部品が前年比 2.4 倍、35.5%増となったことから総額も急増した。ロシア、中国、インドにはシュコダオートの生産拠点(委託生産含む)がある。同社の 2010 年の自動車生産台数は全世界で 78 万台で、前年より 10 万台増加しているが、この増加分のうち 6 万 5,000 台は中国における生産分だ。同社の販売台数をみても、中国は前年比 47.3%増の 18 万台となり、ドイツを抜き、同社にとっての最大の市場となった。

輸入を品目別にみると、機械類・輸送用機器(構成比 43.3%)が前年比 31.9%の増加となった。最大品目の自動車部品(4.5%)が 23.0%増、半導体デバイス等(2.4%)が 2 倍、ポータブルデータ処理機(1.9%)が 2.2 倍と顕著に伸びた。原料別製品(17.9%)は 27.7%増加した。鉄・

鉄鋼(4.8%)が 42.0%増、非鉄金属(3.9%)が 22.9%増と大きく増加したことが主因だった。背景にチェコ国内の自動車生産の拡大に伴う素材需要増がある。

輸入を国・地域別にみると、最大のドイツ(構成比 25.5%)からの輸入が前年比 20.7%増加した。ドイツからの最大の輸入品目である自動車部品(2.2%)は 25.4%増加した。また、ドイツに次ぐ輸入相手国である中国(12.2%)からの輸入は 52.8%増加し、特にポータブルデータ処理機械や半導体デバイス等がそれぞれ 2.7 倍、3.3 倍と大幅に増加した。

なお、2011 年第 1 四半期の貿易は輸出・輸入ともにそれぞれ前年同期比 28.9%増、29.9%増と大幅に増加した。これは主として西欧の景気回復を受け、自動車(構成比 17.6%)と電気機器(9.8%)がそれぞれ前年同期比 23.7%増、31.6%増となったためである。一方、輸入では電気機器(9.9%)と事務機器(8.3%)がそれぞれ前年同期比 28.5%増、31.8%増と約 3 割増加している。

■ 対内直接投資で目立つサービスと R&D 関連

2010 年の対内直接投資は、世界的な景気回復基調により前年比 2.4 倍の 51 億 2,100 万ユーロとなった。主要業種別にみると、2009 年に引き続き、製造業は引き揚げ超過となっているが、卸売・小売り・修理、金融・保険、情報・通信への投資が目立った。チェコ投資庁によると、チェコに投資を行った企業の約 5 分の 4 がサービスや研究開発(R&D)分野となっている。国・地域別で見ると EU27 が全体の 95.9%の水準にあり、オーストリアが最大の投資国だった。

2010 年に発表された主な対内直接投資案件としては、

表 2 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位:100 万ユーロ、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009 年		2010 年			2009 年		2010 年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
EU27	68,615	83,504	83.8	21.7	EU27	50,302	60,061	63.3	19.4
ユーロ圏	54,431	65,872	66.1	21.0	ユーロ圏	40,331	47,762	50.4	18.4
ドイツ	26,291	31,798	31.9	20.9	ドイツ	20,035	24,173	25.5	20.7
スロバキア	7,088	8,742	8.8	23.3	スロバキア	4,116	4,900	5.2	19.0
フランス	4,648	5,356	5.4	15.2	イタリア	3,263	3,693	3.9	13.2
オーストリア	3,789	4,683	4.7	23.6	オーストリア	2,746	3,194	3.4	16.3
イタリア	3,572	4,434	4.5	24.1	フランス	2,905	3,130	3.3	7.7
非ユーロ圏	14,184	17,632	17.7	24.3	非ユーロ圏	9,971	12,299	13.0	23.3
ポーランド	4,662	6,136	6.2	31.6	ポーランド	4,802	6,070	6.4	26.4
英国	4,014	4,854	4.9	20.9	英国	1,627	1,918	2.0	17.9
ロシア	1,877	2,675	2.7	42.5	中国(香港除く)	7,572	11,571	12.2	52.8
米国	1,296	1,752	1.8	35.2	ロシア	3,877	5,141	5.4	32.6
中国(香港除く)	602	918	0.9	52.5	日本	2,362	2,313	2.4	△ 2.1
トルコ	609	786	0.8	29.1	米国	1,582	2,108	2.2	33.2
インド	429	596	0.6	38.9	韓国	1,006	1,573	1.7	56.4
日本	304	400	0.4	31.5	トルコ	530	739	0.8	39.4
ブラジル	197	293	0.3	48.7	インド	339	433	0.5	27.7
韓国	192	203	0.2	5.7	ブラジル	195	193	0.2	△ 1.0
合計(その他含む)	80,992	99,616	100.0	23.0	合計(その他含む)	75,322	94,809	100.0	25.9

ハイテクエンジニアリングのサンドビック(スウェーデン)が2010年4月、子会社サンドビック・ホムトフ・プレジジョン・チューブへの投資を拡大すると発表したものがある。同社は、150人を新規に雇用し、2012年初めまでに北西部ホムトフ工場から特殊合金による原発設備用パイプを出荷する計画である。政府は、現在、テメリン原子力発電所の増設を計画中である。

米国キャタピラーの子会社ソーラータービン EAME は2010年3月、西部ジャテツにガスタービンの再製造・保守サービスを行うハイテク修理センターを設立すると発表した。同社は、欧州、中近東、アフリカの顧客向け修理サービス提供の迅速化に向けて2012年に稼働を開始し、450人の雇用を予定している。

この他にも、インターネット向けネットワーク機器製造のゲムテック(台湾)が、西部ストジープロで工場をレンタル

する形でブロードバンド関連機器の生産を2010年4月より開始した(投資額2,000万コルナ)。

エムビ・ポライアンス(インド)は2010年6月、農業器具販売のグローバル・バッグの株式25%を取得(金額:未公表)した。また、エジプトの電力量計製造大手のエル・スウェディ・エレクトロメーター・エジプトはチェコの電気使用量計測器等の製造を手掛けるZPA スマート・エナジーの株式100%を取得(金額:未公表)した。

また2011年に入ってから、1月に自動車用等鉄鋼製造および加工のシェイプ(米国)が、西部プルゼニューに自動車用エネルギー制御部品の生産工場を設立すると発表した。同工場では、年間約400万個の部品を生産し、主に西欧向けに輸出する計画で、本格稼働する2012年までに125人の雇用を予定している。

2010年の対内投資の特徴として、チェコ投資庁並びにチェコ産業貿易省は、①情報・通信(IT)分野、②エンジニアリング分野、③戦略的サービス分野(会計・人事等のアウトソーシング受託サービスやソフトウェア開発等)への

表3 チェコの主要業種別対内投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ,%)

	2009年		2010年(推計)	
	金額	金額	金額	伸び率
製造業	△ 1,275	△ 544	-	-
金属製品	△ 236	681	-	-
石油、化学、医薬品、ゴム、プラスチック製品	△ 253	120	-	-
自動車	△ 152	△ 562	-	-
卸売・小売り・修理	437	1,716	292.7	-
金融・保険	1,301	1,597	22.8	-
運輸・倉庫	12	629	5,141.7	-
情報・通信	△ 825	521	-	-
電気、ガス、水道	894	303	△ 66.1	-
建設	207	295	42.5	-
不動産	1,478	17	△ 98.8	-
合計(その他含む)	2,110	5,121	142.7	-

[出所] 表4~6とも、チェコ国立銀行。

表4 チェコの国・地域別対内投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ,%)

	2009年		2010年(推計)	
	金額	金額	金額	伸び率
EU27	1,501	4,912	227.2	-
ユーロ圏	1,723	3,317	92.5	-
オーストリア	534	1,117	109.2	-
オランダ	△ 399	859	-	-
キプロス	1,032	691	△ 33.0	-
ルクセンブルク	296	601	103.0	-
フランス	404	457	13.1	-
ドイツ	△ 667	△ 28	-	-
非ユーロ圏	△ 223	1,595	-	-
ポーランド	59	1,049	1,678.0	-
英国	△ 297	380	-	-
韓国	6	153	2,450.0	-
ロシア	△ 29	67	-	-
中国(香港除く)	△ 19	2	-	-
ブラジル	17	△ 1	-	-
インド	23	△ 14	-	-
米国	451	△ 29	-	-
日本	△ 156	△ 29	-	-
合計(その他含む)	2,110	5,121	142.7	-

表5 チェコの主要業種別対外投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ,%)

	2009年		2010年(推計)	
	金額	金額	金額	伸び率
製造業	△ 118	△ 20	-	-
自動車	△ 18	84	-	-
食品、飲料、たばこ	△ 39	29	-	-
金属製品	△ 11	11	-	-
電気・ガス・水道	1,051	861	△ 18.1	-
科学・技術	243	217	△ 10.7	-
不動産	9	88	877.8	-
情報・通信	△ 38	60	-	-
金融・保険	△ 367	58	-	-
建設	-	19	-	-
運輸・倉庫	△ 17	△ 2	-	-
合計(その他含む)	684	1,285	87.9	-

表6 チェコの国・地域別対外投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ,%)

	2009年		2010年(推計)	
	金額	金額	金額	伸び率
EU27	196	1,180	502.0	-
ユーロ圏	△ 199	1,266	-	-
オランダ	170	1,122	560.0	-
スロバキア	△ 370	156	-	-
ドイツ	△ 11	67	-	-
非ユーロ圏	395	△ 86	-	-
ポーランド	△ 8	109	-	-
ブルガリア	△ 30	58	-	-
スウェーデン	-	31	-	-
ロシア	△ 18	55	-	-
インド	△ 10	53	-	-
米国	△ 2	2	-	-
中国(香港除く)	1	2	100.0	-
韓国	-	1	-	-
日本	-	0	-	-
ブラジル	0	△ 4	-	-
合計(その他含む)	684	1,285	87.9	-

表7 チェコの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:1,000ユーロ,%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009年		2010年			2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	147,992	195,178	48.8	31.9	機械類・輸送用機器	1,755,661	1,633,519	70.6	△ 7.0
雑製品	64,188	69,441	17.4	8.2	雑製品	375,634	333,284	14.4	△ 11.3
化学製品	31,731	59,504	14.9	87.5	原料別製品	152,180	232,654	10.1	52.9
原料別製品	22,689	29,029	7.3	27.9	化学製品	64,457	87,573	3.8	35.9
食用に適さない原材料	13,154	24,628	6.2	87.2	食用に適さない原材料	12,030	23,020	1.0	91.4
食料品・生きた動物	23,969	21,530	5.4	△ 10.2	鉱物性燃料	1,033	1,377	0.1	33.3
飲料・たばこ	153	199	0.0	30.1	食料品・生きた動物	670	1,107	0.0	65.2
鉱物性燃料	117	125	0.0	6.8	特種取扱品	98	456	0.0	365.3
動植物性油脂	1	78	0.0	7,700.0	動植物性油脂	26	79	0.0	203.8
特種取扱品	-	-	-	-	飲料・たばこ	53	77	0.0	45.3
合計	303,994	399,712	100.0	31.5	合計	2,361,842	2,313,146	100.0	△ 2.1

投資が顕著だったとしている。チェコ政府による対内投資の誘致は、従来の製造業中心から、情報・通信、研究開発(R&D)等の高付加価値分野に重点を移している。

2010年の対外直接投資は、世界的な景気回復基調により12億8,500万ユーロと前年比87.9%増となった。国・地域別にみると、EU27が11億8,000万ユーロと総額の91.8%を占め、最大であった。その中でもオランダ向けが11億2,200万ユーロと大きかった。2009年に続き、新興国のエネルギー分野への投資も続いており、エネルギー・プロは2010年4月、トルコの水力発電所5カ所を買収したと発表した。また、チェコのエネルギー大手CEZは2010年6月、ルーマニア東部コンスタンツァ県で計画中の欧州最大の風力発電ファームの第1フェーズの一部の発電機の稼働を開始したと発表した。同計画は第2フェーズまであり、総額11億ユーロを投じて、合計出力600MWの発電機を設置する予定だ。

■対日輸出は3割増

2010年の対日貿易は、輸出が前年比31.5%増の3億9,971万ユーロ、輸入が2.1%減の23億1,315万ユーロで、貿易収支は19億1,344万ユーロの赤字となった。

チェコの輸出全体に占める日本の構成比は0.4%で、2009年と同水準であった。対日輸出では、機械類・輸送用機器(構成比48.8%)が最大で、前年比31.9%の増加であった。そのうち最大品目のエンジン部品、液体ポンプがそれぞれ33.7%増、2.1倍だった。また、雑製品(17.4%)では、同品目の55.6%を構成する玩具・ブロック・模型が15.1%増だった。このほか、食料品・生きた動物(5.4%)は10.2%減で、同品目の8割を構成するホップ(麦芽)の輸出が2.6%減であった。これは、日本のビール需要の減少によるものと思われる。しかし、チェコ産ホップの最大の輸出相手国は依然として日本で、輸出全体の半分以上を占め、続くドイツ(4.6%減)を大幅に上回って

いる。

対日輸入はチェコの輸入全体の2.4%を占め、前年とほぼ同水準であった。最大の輸入品目である機械類・輸送用機器(構成比70.6%)は前年比7.0%減だった。同品目の2割弱を占める事務機器が14.7%減の減少、また通信機器部品は56.8%減の大幅減だった。11.3%減の雑製品(14.4%)では、光ファイバーケーブルの63.1%減が目立った。

■日系企業による投資は、製造業からR&Dに

ジェットロ・プラハの調査によると、チェコに進出している日系企業は259社(2011年6月末時点)で、そのうち製造業は95社となっている。投資累計額は30億5,563万ドルで、雇用者数は約4万5,000人に上る。しかし、近年の賃金上昇と労働力不足により、日本からチェコへの投資額(国際収支ベース、ネット)は、2009年に続き引き揚げ超過(2,900万ユーロ)となった。

他方、京セラソーラーヨーロッパ・チェコは2011年1月、太陽電池モジュール生産工場の拡張(2011年秋竣工予定、年間生産能力360MW)を発表しており、一部には既進出日系製造業の生産拡張の動きもみられる。また、日系企業の対チェコ投資は、2008年よりR&D案件が目立つようになってきており、チェコ政府の高付加価値分野における重点的な投資誘致の方針と相まって、今後もこの傾向が続くものと思われる。